

Pocket Watch
Collection
2011



甦る伝統とロマン 懐中時計が密かなブームに

おもむろにポケットから取り出し、蓋をはじいて時間を見る。そしてまた、ゆっくりとポケットへ……。腕時計とはひと味違うクラシカルな雰囲気を感じさせてくれる懐中時計は、根強いファンが少なくありません。腕時計が主流になってからも、年配者や和服を着る機会が多い人、あるいはアンティーク愛好家などを中心に人気を保ってきました。さらにここに来て、若者にもその魅力が受け入れられ、密かなブームを呼んでいます。

なぜ現在、若者たちに懐中時計がブームを呼んでいるのでしょうか。懐中時計のレトロな味わいや、腕時計にはない美しい装飾がかえって新鮮に感じられ、個性を演出するのにピッタリのツールと受けとめられているのかもしれません。懐中時計といえば、ベストのポケットからチェーンをのぞかせるというスタイルが定番でしたが、若者たちは、ジーンズのポケットに入れたり、ベルトからチェーンでぶら下げたりと、アクセサリ感覚で、カジュアルな装いに取り入れています。彼らならではの楽しみ方をしていきます。

多くの機械式懐中時計が手巻き式のムーブメントを採用しています。手巻き式の懐中時計では、裏蓋が開けられたり、スケルトンになっていたりするものも多くあります。腕時計よりサイズが大きいだけあって、テンプの動きや脱進機の構造など、複雑で美しいムーブメントがよくわかります。

デジタル製品が巷にあふれかえっている現在、懐中時計は持つ人に懐かしい気持ちを抱かせ、和ませてくれます。是非とも実際に手に取って頂き、そして時を刻む音にしばし耳を傾けて頂きたいものです。

